

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	映像リテラシーA2（放送基礎）	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に提示する。				
担当教員情報					
担当教員	加藤 雅夫		実務経験の有無・職種	有・放送業務	
学習目的					
制作や技術スタッフとして働くことを希望する学生諸君に、自分の専門興味分野だけではなく、広くTV局全体の構造を俯瞰できるようになることを目的とします。					
到達目標					
テレビ局の構造を理解することは、自分自身が働く環境を理解することであり、社会人になる上での最も必要な資質や観点を育むことに繋がり、理解しなければならない目標になります。					
教育方法等					
授業概要	テレビ局内の業務を各部署や業務単位で幅広く解説します。 技術的なななしや制作に関することは他所で学ぶ機会も多いと思うので、 ビジネス視点での実例を多く取り入れるようにします。				
注意点	現場での経験を踏まえて、出来る限り実例を交えて本音で授業を展開します。 業界を目指す人達にとって興味深い内容に成るように留意します。 特に授業中に居眠りをするものは厳しくマイナス評価するので注意してください。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	前期、後期それぞれの期末テストによる		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	20%	授業態度による（遅刻、居眠り要注意）		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	イントロダクション		テレビを取り巻くマルチスクリーンメディア環境を知る		
2回	テレビビジネスとは		テレビ局のビジネスモデルと視聴率について学ぶ		
3回	営業について		テレビ営業の仕組みと広告代理店について学ぶ		
4回	編成について		テレビ局の編成を組織から見た理解を深める		
5回	制作、美術、CG		仕事の序列や連絡系統を知る		
6回	報道について		報道の成り立ちを知り、テレビ局の報道の仕組みを学ぶ		
7回	制作技術、放送技術、情報システム		テレビ放送だけでなく放送局の役目を学ぶ		
8回	広報宣伝について		広報、宣伝に関する知識を学び仕組みを理解する		
9回	地上波、CS、BS、ケーブルテレビ、IPTV		テレビ放送の種類、放送事業について詳しく学ぶ		
10回	テレビコマーシャルについて		コマーシャルの世界を詳しく学び、クライアントとの関係性を学ぶ		
11回	デジタルコンテンツについて		データ化された世界を理解し、デジタルマーケティングを知る		
12回	関連事業について		テレビ関連事業を詳しく知ることによって放送業界を深く知る		
13回	マルチスクリーン時代		マルチスクリーン時代のデバイス利用動向を学ぶ		
14回	後期授業のまとめ		授業を復習する		
15回	試験対策授業		試験対策を行う		